

令和6年2月月例記者会見 市長原稿(議案関係)

はじめに、2月15日開会の裾野市議会2月定例会に提出いたします議案につきまして、ご説明申し上げます。

まず、令和6年度当初予算案についてです。

令和6年度一般会計当初予算総額は、「戦略から実動へ」移行するための予算として、当初予算編成としては「過去最大」の予算となります。総額215億6,200万円、前年度当初予算と比べて17億3,900万円、8.8%の増です。一方、第2期行財政構造改革策定時における令和3年度中期財政計画に留意し、財政調整基金取崩額は概ね「10億円」とすることを念頭に当初予算を編成いたしました。

特別会計は総額119億5,561万4,000円で、前年度当初予算と比べて1億1,164万6,000円、0.9%の減となります。

事業会計は総額24億7,843万7,000円で、前年度当初予算と比べて1億5,054万3,000円、5.7%の減となります。

一般会計、特別会計及び事業会計を合わせた総予算額は359億9,605万1,000円となり、前年度当初予算と比べて14億7,681万1,000円、4.3%の増となりました。

次に、令和6年度の一般会計歳入見込、財源配分につきましてご説明申し上げます。

歳入では、企業経済活動のコロナ前水準回帰による法人市民税など市税収入の回復が見込まれるものの、引き続き普通交付税の交付団体を見込みます。

令和5年度人事院勧告に伴う人件費、並びに新たに開始される会計年度任用職員の勤勉手当の支給分の増額、高齢化に伴う介護保険等への繰出金、及び給付費等の扶助費の自然増に加え、エネルギー・原材料費などの物価高騰に起因する経費増額を見込みます。人件費・扶助費といった義務的な経費に一般財源を配分しつつ通常収支の状況を勘案しながら、主要事業等の裁量的経費に配分しました。

令和6年度は「戦略から実動へ」という目標を実現させるため、裾野市企業立地促進事業費補助事業費、学校再編事業として向田小学校児童受入のための東小改修工事事業費、道の駅整備に向けた計画策定、公立こども園への改修などをはじめとする、未来に向けた投資事業費を増額します。

さらに国の「こども未来戦略方針」に基づく少子化対策・こども政策への対応、市民満足度向上のためのデジタルトランスフォーメーションに対応した“頼りになる窓口”創出事業費を増額します。

加えて裾野駅西土地地区画整理事業では、計画終了年度に向けて事業費の平準化を行うための増額を行います。

なお、具体的な整備が実施される事業の財源について起債並びに各基金を活用しますが、基金のうち財政調整基金取崩額については、第2期行財政構造改革策定時における令和3年度中期財政計画上の基金取崩額「7.4億円」(R4見通しでは7.2億円)に留意しつつ、企業誘致に係る補助として2億円(事業費4億円)、物価高騰などを主要因とする増額として3千万円(R5からの増加分)、人事院勧告等に伴う人件費の増額1億円等を加算し、取崩額を概

ね「10 億円」とすることを念頭に当初予算を編成いたしました。

それでは市長戦略に掲げる 5 つの柱に沿って令和 6 年度の主要事業について説明いたします。

●まずは、1 つ目の柱「人口と立地企業数の増加」と、2 つ目の柱「市民の抱える不安の解消」について、併せてご説明します。

まず、企業誘致のため、市内において企業立地促進事業を行う民間企業に対して補助金を交付します。また、産業立地拠点の創出を図るため須山 B 地区の事業化の検証を実施します。

次に、教育の魅力向上に資する事業として、東小学校と向田小学校を統合するための教室の整備や老朽化対策の工事を実施します。また、東中学校を向田小学校に移転するための基本設計を実施します。各中学校では、生徒がスポーツや文化活動に継続して親しむ環境づくりのため部活動の地域移行や地域連携の事業を行ってまいります。

次に、都市計画関係では、住宅及び都市機能誘導及び居住誘導に向けた施設・区域の見直しと、防災指針の追加や、誘導施設の見直しを行うため、裾野市立地適正化計画の改定に着手します。

また昨年度から継続して、駅周辺や市街地から外れる市街化調整区域においては、地域活力の維持・向上を図るため、市街化調整区域における地区計画適用の基本的な方針の策定を進めてまいります。

更に、円滑な交通の確保や歩行者の安全を図るため都市計画道路平松深良線稻荷工区の整備を推進します。

そして、地域の魅力向上に資する事業として、道路利用者への安全で快適な交通環境の提供と地域の賑わい創出や交流の場の提供を行うことを目的として、道の駅整備事業として基本計画の策定を行います。

裾野駅周辺では、都市機能や交通機能の増進を行うため裾野駅西土地区画整理事業を継続して行います。合わせて、大人から子どもまでが集える公園として裾野駅西公園の整備を行います。

岩波駅周辺では、岩波地域の資源とウーブン・シティ等周辺企業との未来を創生できるまちづくりとして、岩波駅周辺整備を継続して実施していきます。

その他に都市公園のトイレの洋式化、市夏まつりへの補助や、スポーツを通じた交流人口の拡大と滞在型観光による地域経済の活性化を図るためスポーツツーリズム事業を行ってまいります。

●続いて、3 つ目の柱「市民満足度のさらなる向上」についてです。

まず、『頼りになる』窓口創出事業」として、「書かない窓口」の実現、相談スペースの充実化、データを収集して継続的に改善する体制づくりなど、「日本一市民目線の市役所」にふさわしいフロントヤード改革に取り組みます。

次に、子育て支援の充実では、富岡・深良保育園を公立のこども園とするために必要な改修計画を策定します。教育・保育及び地域の子育て支援等について需要と供給の計画を定めるため、第3期子ども・子育て支援事業計画等の策定を行います。妊婦、子育て世代に対しては身近な相談窓口として伴走型相談支援の充実を図るとともに、経済的支援として出産、子育て応援交付金を交付していきます。

次に、高齢者支援の充実では、高齢者を中心に発症者が増加している帯状疱疹について、ワクチン接種費用の一部を助成します。老人クラブの温泉施設を利用した生きがいの場の提供として、ヘルシーパーク裾野を活用したせせらぎの湯代替事業を実施していきます。

その他として、通学路の安全対策、市民が安心・安全にスポーツを楽しめる環境の創出のための陸上競技場の空調機の更新、簡易水道では、非常時対策として水道送水管を複線化し、非常時対策送水管複線化事業を実施します。

●最後に、4 つ目の柱「財政健全化の実現」と、5 つ目の柱「組織の生産性の向上」について、併せてご説明します。

まず、公共施設については、公共施設等総合管理計画の基本方針に基づき既存施設の整備のランニングコストの縮減に努め、新年度は温室効果ガス排出の実質ゼロに向けた取り組みと光熱費の縮減を目的として、庁舎照明器具のLED化をリース事業として行います。

次に、教育・保育の質の向上として、幼稚園・保育園職員の研修会の実施や教育・保育相談窓口の設置、保育の質向上を行う私立園に対して補助金の交付を行います。

そして、今後のまちづくりの基本的な方向を示す裾野市総合計画後期基本計画策定に着手いたします。

以上で、令和6年度当初予算案についての説明を終わります。

組織改編については、令和5年度の組織について大きな改編を実施したことから必要最小限に留めています。

子育て支援課に「こども家庭センター」の組織を加えて、子育て家庭に対する相談支援を充実させることで、母子保健・児童福祉の両機能の連携・協働を深め、子育てに困難を抱える家庭に対して、切れ目なく、漏れなく対応をしていきます。

また、ふるさと納税の取組みについて更なる強化を図るべく、情報発信課内に課内室としてふるさと納税強化対策室を設置します。

次に、当初予算以外の主な議案についてご説明申し上げます。

まず、第 11 号議案 裾野市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定については、地方公共団体の特定の事務の郵便局における取扱いに関する法律に基づき、マイナンバーカードの電子証明書の更新等に係る事務を市内郵便局へ指定することにより、市民の利便性の向上、分散化により本庁舎の混雑を緩和し、来庁者の待ち時間の軽減を図るものであります。

次に、第 17 号議案 裾野市立学校等設置条例の一部を改正することについては、裾野市学校教育再編基本計画に基づき、向田小学校と東小学校の令和 7 年度の統合に伴う、令和 7 年 3 月の向田小学校閉校のため、本条例の一部を改正するものであります。

次に、第 18 号議案 裾野市福祉保健会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正することについて、裾野市福祉保健会館には、設置されている施設のうち、「裾野市老人福祉センター」が令和 6 年 3 月 31 日をもって廃止され、裾野市子ども家庭総合支援拠点、裾野市子育て世代包括支援センターの機能を持った「裾野市子ども家庭センター」の新設に伴い、「裾野市老人福祉センター」の使用料に関する規定の廃止等の改正を行うものであります。

次に、第 24 号議案 令和 5 年度裾野市一般会計補正予算(第 10 回)につきましては、既定の予算総額に 6,700 万円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ 217 億 8,500 万円とするものであります。

補正予算の主な事業については、裾野市民文化センター大ホールの改修に伴う、改修工事実施設計委託のため委託費 1,437 万 1,000 円を追加します。

令和 6 年裾野市議会 2 月定例会に提出する議案についての説明は以上となります。

特別会計・事業会計の補正予算、その他の議案につきましては、お配りした資料をご覧くださいただければと思います。